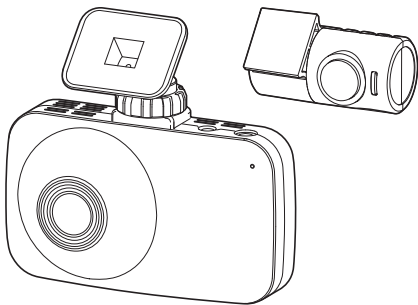




ドライブレコーダー UP-SAFETY

取扱説明書

UP-K04



ドライブレコーダーをご購入いただき、
ありがとうございます。

本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
特に“安全上のご注意”(P.4~6)“使用上のご注意”
(P.7~12)はご使用前に必ずご一読ください。

本製品の仕様(外観、付属品等)は、改良のため予告なく変更する
ことがあります。ご了承ください。

CONTENTS

安全上のご注意	4
使用上のご注意	7
構成品	13
各部名称	14
microSD カードの挿入、取り外し方法	15
車両への設置	16
microSD カードのフォーマット	23
録画方式	24
LED 表示	28
録画可能容量	29
ファイル構成とタイムギャップ	31
microSD カード内の構成	32
録画面面	33
時計表示画面	34
メインメニュー	35
録画設定	36
駐車モード	37
ディスプレイ	38
再生	43
システム	44
専用ビューア	45
製品仕様	56
本体ソフトウェアのアップデート方法	58
保証書	59

安全上のご注意



- ご使用の前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項または、警告事項は安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。記載されている注意、警告事項は危険な状況をすべて網羅しているわけではありません。使用に際しては十分に注意してください。
- 取扱説明書は保証書と一緒にお使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

警告

誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。


注意

誤った取り扱いをすると人が障害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

-  この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
-  この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。



取り付け、配線について

警告



-  ● **DC12V / 24V マイナスアース車以外で使用しない**
DC12V / 24V マイナスアース車以外で使用しないでください。火災や故障の原因となります。
- **エアバッグシステムの動作を妨げる位置には絶対に取り付け、配線をしない**
エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグの衝撃で製品や部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。
- **視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない**
運転操作を妨げる場所：ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルの近くなど。
交通事故やけがの原因となります。
- **取り付けやアース配線に保安部品を使わない**
保安部品：ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット類など。
制御不能や発火、交通事故の原因となります。

安全上のご注意

警告

-  ● 車両メーカーが指定する禁止エリアに取り付けや配線をしない
カメラやセンサーなどの車両装置の動作を妨げる恐れがあり、交通事故の原因となります。禁止エリアは車両メーカーにお問い合わせください。
-  ● 取り付け、配線は安全のため専門業者に依頼する
取り付け、配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をするると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの専門業者にご相談ください。
- 配線作業中はバッテリーのマイナス端子を外す
マイナス端子を外さずに作業すると、ショート事故による感電やけがの原因となります。
- 正規の接続をする
誤った接続をするると火災や事故、故障の原因となります。
- コード類は取り付け説明の指示に従い、運転操作の妨げとならないように固定する
ステアリングやブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。
- 車体やねじ部分、シートレールなどの可動部に配線を挟み込まない
断線やショートにより火災や故障、感電の原因となります。
- コード類の配線は高温部を避けて行う
コードの被覆が溶けてショートし、事故や火災の原因となります。




注意

-  ● 水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所には取り付けない
水や油煙などが入ると発煙や火災、故障の原因となります。
- 振動の多い場所や不安定な場所には取り付けない
走行中に外れ、交通事故やけがの原因となります。
-  ● 付属の電源ケーブルを使用する
付属品以外の電源ケーブルを使用すると、火災や感電の原因となります。また、電源ケーブルの改造は行わないでください。


安全上のご注意

使用について

警告

-  ● **本機を分解、改造しない**
火災や感電、故障、データ損失の原因となります。
分解、改造が故障の原因と認められた場合、保証は適用されません。
-  ● **運転中に操作しない**
交通事故やけがの原因となります。
必ず安全な場所へ車を停車させ、パーキングブレーキをかけた状態で操作を行ってください。
- **機器内部に水や異物を入れない**
金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因となります。
-  ● **故障や異常な状態のまま使用しない**
万一煙が出る、変なにおいがする、内部に異物が入った、水がかかったなどの場合はただちに使用を中止してください。そのままご使用になると事故や火災、感電の原因となります。お買い上げの販売店、もしくは弊社サービスにご相談ください。
- **ヒューズは必ず規定容量品を使用する**
ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量品と交換してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると火災の原因となります。

注意

-  ● **本機を車載用以外には使用しない**
火災や感電、故障、けがの恐れがあります。

使用上のご注意

- ほかの無線機やテレビ、テレビチューナー、ラジオ、パソコン、GPSなどの近くで使用すると、影響を受けたり与えたりすることがあります。
- 本機を高温、及び低温に長期間放置しないでください。
 - ・ 一定以上の高温下、低温下では異常な動作をする場合があります。
 - ・ 結露のない状態でご使用ください。
- レンズは常に清潔な状態でお使いください。
 - ・ レンズが汚れますと画質が低下します。
 - ・ お手入れはレンズクロスなどで拭いてください。
- 長時間使用する場合、通風しを良くしてください。
 - ・ 本体の温度が上昇し、変形や故障の原因になることがあります。
- バイザーはゆっくり下げてください。
 - ・ 本体に接触してカメラの向きが変わる可能性があります。
- 本機の掃除やお手入れの際には、水、ワックス、その他の洗剤をかけないでください。
 - ・ 故障や感電を引き起こす可能性があります。
- 本機で録画した映像はプライバシーや著作権の侵害など、法や条例に接触しないよう注意してご利用ください。
- 本機は本来の使用目的以外ではご使用にならないでください。
- 本機は日本仕様です。海外ではご使用になれません。

使用上のご注意

使用できる microSD カードについて

本書では特にことわりのない限り「microSDHC カード」、
「microSDXC カード」を「microSD カード」と総称して表記しています。
本機では下記の SD 規格に準拠した microSD カードに対応しています。
下記以外の microSD カードは使用できません。

- ・ microSDHC カード

容量：8～32GB、スピードクラス：CLASS10 以上

- ・ microSDXC カード

容量：64GB、スピードクラス：CLASS10 以上

microSDカードの注意事項

- microSD カードは専用のファイルシステムに書き換える必要があります。初めて使用される microSD カードは本機でフォーマットを行ってください。フォーマットを行わなければ録画されません。(⇒ P.23)
- 本機でお使いいただく microSD カードは、本機専用としてお使いください。
- 本機で使用中の microSD カードを他の用途で使用すると正常に動作、録画ができない場合があります。
- 他の機器で使用した microSD カードを使用する場合は本機でフォーマットを行ってください。
- microSD カードは分解、改造、その他加工はしないでください。
- 定期的にデータを読み出し、書き込みが正常かどうかご確認ください。
- 安心してお使いいただくため、1 ヶ月に 2 回程度は microSD カードをフォーマットしていただくことをお勧めします。
- 大切なデータはパソコンや他の記録メディアなどにバックアップを作成してください。
- microSD カードは消耗品です。定期的に録画映像を確認し、6 ヶ月を目安に交換することをお勧めします。

使用上のご注意

microSD カードのフォーマットについて

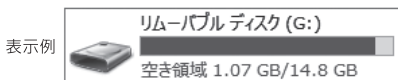
本機で使用する microSD カードは専用のファイルシステムとなっており、基本的に定期フォーマットを行う必要はありません。

正常に書き込み、読み込みができない場合や、動作が不安定な場合に再度フォーマットを行ってください。

PC など他の機器でフォーマットを行わないでください。

パソコンでの表示容量について

専用のファイルシステムとなっているため、使用した microSD カードをパソコンに接続した際、録画ファイル数が少なくても使用領域が多く表示されます。



録画ファイル数が少なくても使用領域が多く表示されます。

使用上のご注意

電源が入ったままの状態でも microSD カードの抜き差しを行うと録画されたファイル、または microSD カードが壊れてしまうなど、ドライブレコーダーが正常に動作しなくなる場合がありますので下記手順をお守りください。

microSD カードの抜き差し手順

<microSD カードの抜き方>

1. ドライブレコーダーの電源をオフにして、LED が消灯したことを確認します。
2. ドライブレコーダーから microSD カードを取り出します。
(microSD カードを軽く押し込み、少し飛び出してから引き抜きます。)

<microSD カードの挿し方>

本体の電源が切れている状態で microSD カードを挿入します。
microSD カードの向きに注意して、カチッと音がするまで挿入してください。

使用上のご注意

保証範囲

- 本製品は事故などで衝撃のあった時点で録画するイベントレコーダーではありません。
- ドライブレコーダーは、すべての状況において映像を録画することを保証するものではありません。録画ファイルの間にはタイムギャップ(無録画時間)が存在します。
- 録画された映像は事故を起こした場合の示談交渉や法的手続きにおいて参考録画としてご利用いただけますが、直接的証拠として保証されるものではありません。
- 運転支援機能はドライバーの運転をサポートするもので、事故を未然に防ぐものではありません。また、すべての条件において危険をお知らせするものではありません。
- 本製品は安全運転補助装置であり、故障による損害、データ損失による損害、その他の本製品を使うことにより発生する損害に対して弊社は責任を負いません。
- 本製品は車の状態や車両事故などで製品が破損したり、microSDカードの問題で録画ができない場合もあり、それらにより生じる損害に対して弊社は責任を負いません。
- 車両運行前に製品の動作状態をご確認ください。

次の場合は故障ではありません

- LEDの信号機やテール/ストップ/ウィンカーランプは録画した映像で点滅、または消灯したように映る場合があります。
- 動作中に再起動し、「常時録画を開始します」のアナウンスがあることがあります。
- Gセンサーは衝撃の方向によって検知が異なるためイベント録画ファイルが生成されない場合があります。

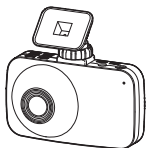
使用上のご注意

GPS信号受信の注意事項

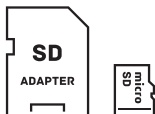
- GPS 衛星は米国政府によって運用されている測位システムです。
- 初めてご使用になるときや長い間電源を入れていなかったときなど、内部の二次電池が充電されていない場合、GPS 衛星から信号を受信し位置を測位するまで長時間かかる場合があります。
- GPS 衛星からの信号を受信できない場所（トンネルや地下、ビル等に囲まれた場所など）では、位置情報が記録されません。
- 受信環境によって位置の測位に時間がかかる場合や、位置情報にズレが生じることがあります。
- 熱線反射タイプ、または熱線吸収タイプのフロントガラスには電波を通さないものがあり、GPS 衛星から信号を受信できない場合があります。フロントガラスの種類、電波透過性の詳細については販売店やカーディーラーにお問い合わせください。

構成品

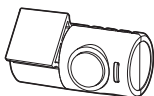
製品購入後、まず下の構成品が全て含まれていることを確認してください。



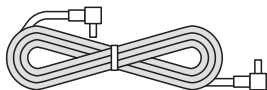
本体 & スタンド



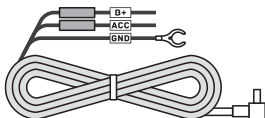
SD カードアダプター
microSDHC カード 16GB



リアカメラ



リアカメラ接続ケーブル



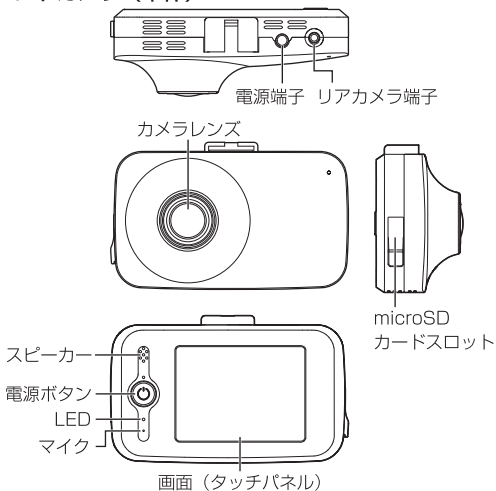
常時電源ケーブル



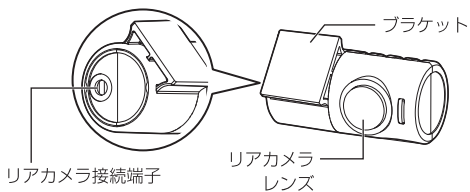
取扱説明書（保証書）

各部名称

■ フロントカメラ (本体)



■ リアカメラ

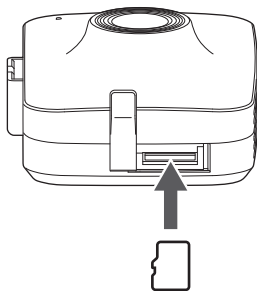


microSD カードの挿入、取り外し方法

microSD カードの抜き差しを行う場合は、必ず本体の電源がオフで LED が消灯していることを確認してから行ってください。

● microSD カードの挿入

microSD カードは下図の向きでカチッと音がするまで挿入します。



● microSD カードの取り出し

microSD カードを取り出すときは、軽く押し込み、少し飛び出してから丁寧に引き抜きます。

※ 無理な力で行うと破損の原因になります。

microSD カードの挿入、取り外し時は落下、紛失にご注意ください。
また、常に microSD カードをケースに入れて持ち運びください。

車両への設置

■ 取り付けの前に…

取り付け作業を行う前に「安全上のご注意」を再確認し、必ずお守りください。
また、取り付け時の注意に従い作業を行ってください。

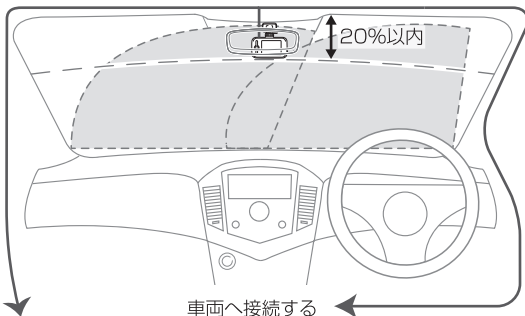


配線作業中はバッテリーのマイナス端子を外してください

取り付け時の注意

- ドライブレコーダー本体は必ずフロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。
- ドライブレコーダー本体はワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。
- 視界の妨げにならない位置に取り付けてください。
- 検査標章などを避けて取り付けてください。
- 添付の両面テープは再接着できません。
ブラケットを仮止めし、映像を記録・再生するなどして取り付け位置をよく確認してください。
- ケーブルは運転の妨げにならないようテープやクランプで固定するなどしてください。
- 運転支援機能を使用する場合は、フロントガラスの中央に取り付けてください。

■ 取り付けイメージ



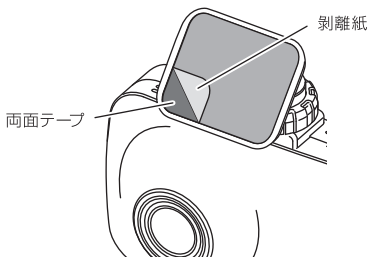
リアカメラを接続

車両へ接続する

車両への設置

■ 本体の取り付け

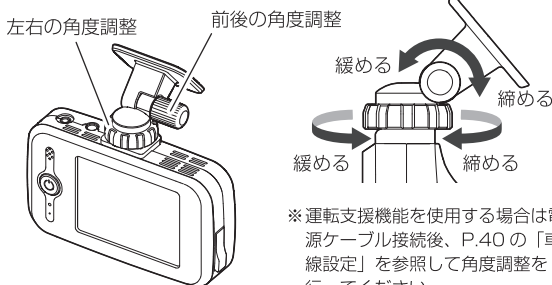
1. 取り付け時の注意に従い適切な位置を決め、フロントガラスの汚れや脂分をきれいに拭き取ってください。
2. 本体の取り付け位置を決めたら両面テープの剥離紙を剥がし、本体をフロントガラスにしっかりと貼り付けます。



※添付の両面テープは再接着できません。

本体を仮止めし、映像を記録・再生するなどして取り付け位置をよく確認してください。

3. 本体のレンズ面が路面に対して水平になるように角度を調整します。

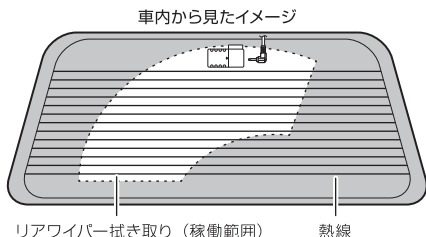


※運転支援機能を使用する場合は電源ケーブル接続後、P.40の「車線設定」を参照して角度調整を行ってください。

車両への設置

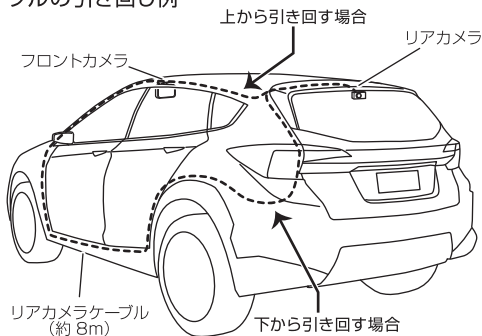
■ 取り付けの前に

リアガラスに熱線がある場合は、熱線に取付ブラケットの両面テープを貼り付けしないでください。両面テープをはがす際、熱源を破損させるおそれがあります。



- ※リアカメラは防水仕様ではありません。車内へ取り付けてください。
- ※リアカメラの向きは上図の向きで取り付けてください。取り付け方向を間違えると録画映像の上下が逆さまになります。
- ※リアガラスにフィルムが貼られている場合、フィルムの上から取り付けると、衝撃を受けた際にフィルムごと外れる可能性があります。本機を使用する場合は、フィルムを貼らないでください。

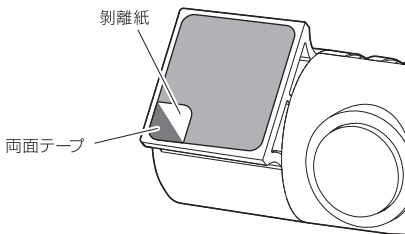
■ ケーブルの引き回し例



車両への設置

■ 本体の取り付け

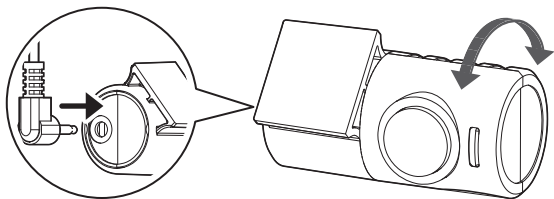
1. 取り付け時の注意に従い適切な位置を決め、リアガラスの汚れや脂分をきれいに拭き取ってください。
2. リアカメラ本体の取り付け位置を決めたら両面テープの剥離紙を剥がし、本体をリアガラスにしっかりと貼り付けます。



※添付の両面テープは再接着できません。

本体を仮止めし、映像を記録・再生などして取り付け位置をよく確認してください。

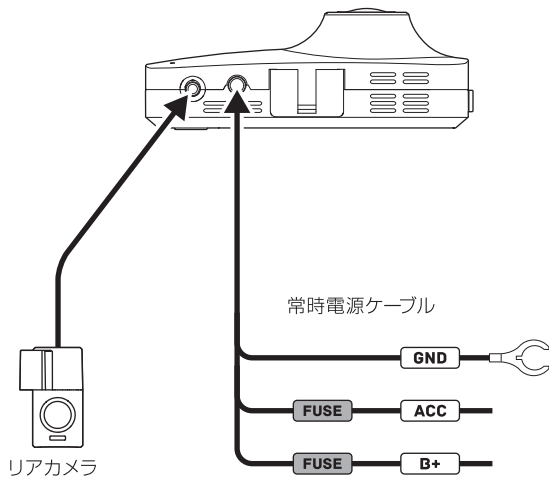
3. 本体のレンズ面が路面に対して水平になるように角度を調整します。



車両への設置

■ 接続方法

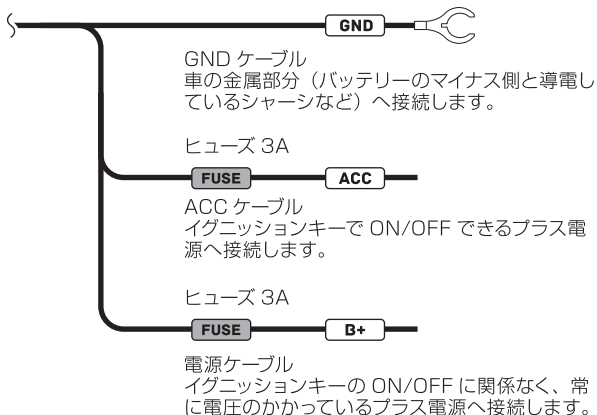
※ケーブルは運転の妨げにならないようにテープやクランプで固定するなどしてください。



車両への設置

■ 電源ケーブルの接続

常時電源ケーブル



車両への設置

■ 接続後の確認

1. ケーブルの接続後、余ったケーブル類は運転の妨げにならないよう束ねてテープやクランプで固定するなどしてください。
2. お車のエンジンを始動、または ACC をオンにして本機の電源をオンにします。
3. microSD カードのフォーマットを行います。
※ microSDカードのフォーマット(⇒P.23)を参照してください。



microSD カードは専用のファイルシステムに書き換える必要があります。初めて使用される microSD カードは本機でフォーマットを行ってください。フォーマットを行わなければ録画されません。



← フォーマット

4. フォーマットが完了すると常時録画を開始します。

microSD カードのフォーマット

microSD カードは定期的にデータを読み出し、書き込みが正常かどうか確認してください。

安心してお使いいただくため、1ヶ月に2回程度は microSD カードのフォーマットを行うことをお勧めします。

※フォーマット時にはすべてのデータが削除されます。

大切なデータは必ず PC などにバックアップをしてください。



フォーマットは必ず本機で行ってください

※本機でお使いいただく microSD カードは、本機専用としてお使いください。

※本機で使用中の microSD カードを他の用途で使用すると正常に動作、録画ができなくなる場合があります。

※他の機器で使用した microSD カードを使用する場合は本機でフォーマットを行ってください。

■ フォーマット手順

メニュー画面を表示させ SD カードをタッチして実行します。

※フォーマットは途中で中止することができません。操作には充分ご注意ください。

※フォーマットが完了するまで microSD カードを抜いたり、電源をオフにしないでください。



⇨ フォーマット

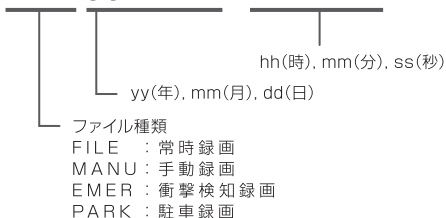
録画方式

録画方式は常時録画、手動録画、衝撃検知録画、駐車録画があります。

● ファイル名について

- ・フロントカメラとリアカメラの映像を1つの録画ファイルで作成されます。
- ・ファイル名はファイル種類 + 録画した年月日 + 時分秒に構成で作成します。

FILE yymmdd-hhmmss.avi



1. 常時録画

本機はお車のエンジンを始動、または ACC がオンし、電源が入ると自動的に常時録画を開始します。開始は音声でお知らせします。

1つの録画ファイルは約60秒で作成されます。常時録画中はLEDが青点灯します。(GPS信号が受信できない場合は青/赤の交互点滅)

※音声案内がオフ、ボリューム設定がオフのときは音声案内はありません。



保存フォルダ : Normal

ファイル名 : FILE yymmdd-hhmmss.avi

録画方式

2. 手動録画

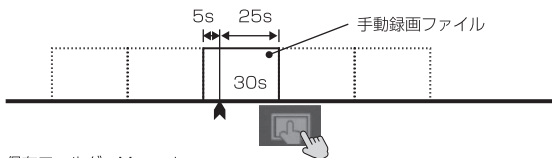
常時録画中に手動録画をタッチすると、手動録画ファイルを作成します。

タッチしたタイミングから前 5 秒、後 25 秒、計 30 秒間を 1 つのファイルとします。手動録画中は LED が紫点灯します。

手動録画ファイルを作成後、常時録画に戻ります。

※手動録画中はタッチ操作はできません。

※手動録画中に衝撃を検知すると衝撃検知録画を行います。



保存フォルダ：Manual

ファイル名：MANU yymdd-hhmmss.avi

3. 衝撃検知録画

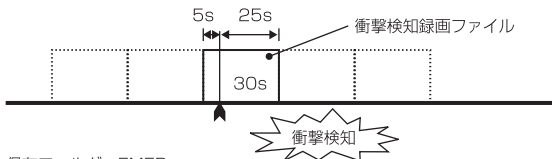
常時録画中、または手動録画中に G センサーが衝撃を検知すると衝撃検知録画ファイルを作成します。

検知したタイミングから前 5 秒、後 25 秒、計 30 秒間を 1 つのファイルとします。衝撃検知録画中は LED が紫点灯します。

衝撃検知録画ファイルを作成後、常時録画に戻ります。

※衝撃検知録画中はタッチ操作はできません。

※衝撃検知録画開始時に「ピッ」と鳴ります。(音声案内はありません)



保存フォルダ：EMER

ファイル名：EMER yymdd-hhmmss.avi

録画方式

4. 駐車録画（衝撃検知 / 動体検知）

駐車録画の注意

- ※駐車モードをオンにする必要があります。(⇒P.37)
- ※停止電圧、オフタイマーの設定を行ってください。(⇒P.37)
- ※本体の電源ボタンで、電源をオフにした場合は動作しません。
- ※駐車録画は車両バッテリーにより動作します。バッテリーの充電状態や劣化などにより起動しない場合や、動作を停止する場合があります。
- ※本機の温度が動作温度範囲 (-10℃～ 70℃) を超えると動作を停止する場合があります。
- ※車両のバッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いかねます。

車両のエンジン停止 (ACC オフ) すると駐車モードになります。駐車モード中は G センサーによる衝撃検知監視を行います。

衝撃 / 動体を検知すると駐車録画ファイルを作成します。検知したタイミングから前 5 秒、後 25 秒、計 30 秒を 1 つのファイルとします。

駐車録画ファイルを作成後、監視状態に戻ります。

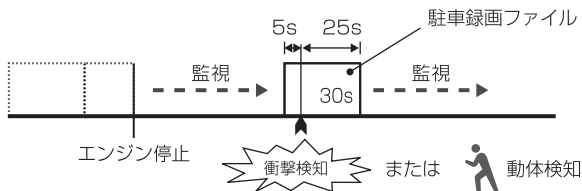
バッテリー電圧低下、またはオフタイマーの設定時間経過後に駐車モードを終了します。

駐車モード中にエンジン始動 (ACC オン) を検出すると常時録画へ移行します。

録画方式

4. 駐車録画（つづき）

- ※動体検知はフロントカメラ、リアカメラの両方で検知します。
- ※駐車録画が行われた場合、次回起動時に件数が表示されます。
- ※駐車モード中は LED が赤点滅します。
- ※駐車モード中は画面表示がオフになり、映像は表示されません。



保存フォルダ：PARK

ファイル名：PARK yymmdd-hhmmss.avi

LED 表示

■ 録画動作

○ : 点灯 ◐ : 点滅

LED	説明
○ 青	常時録画中
○ 紫	手動録画／衝撃検知録画中

■ その他の動作

LED	説明
○ 青	電源投入時
◐ ◐ 青 赤 青 / 赤 交互点滅	GPS 信号未受信時 この状態では正確な日時や位置情報を記録できません。
○ 赤	メニュー表示中
○ 紫	microSD カードフォーマット中
◐ ○ 赤 青	本体ソフトのアップデート

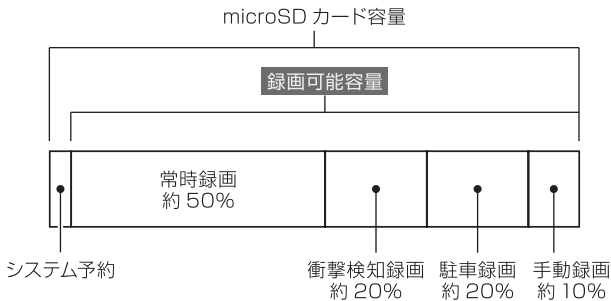
■ 異常時動作

LED	説明
◐ 赤	microSD カードが未挿入
	microSD カードが取り外された
	microSD カード、または本体の異常発生時

録画可能容量

■ 録画可能容量について

- microSD カードに録画できる容量は、録画方式によってそれぞれの容量が決められています。
microSD カードの容量から、システム予約を引いた残りが録画可能容量となります。
- 録画可能容量の約 50%が常時録画、20%が衝撃検知録画、約 20%が駐車録画、約 10%が手動録画の容量となります。
※microSD カードの容量によって録画可能容量は変わります。



録画可能容量

■ microSD カード容量別録画時間

- SD カードの容量別録画可能時間は下記の通りです。
- 録画時間は映像の状況、録画環境によって変動しますので参考値となります。

画質：FHD

microSD カード 容量	常時録画	手動録画	衝撃検知録画	駐車録画
16GB	63分	13分	26分	26分
32GB	127分	26分	53分	53分
64GB	254分	53分	107分	107分

画質：HD

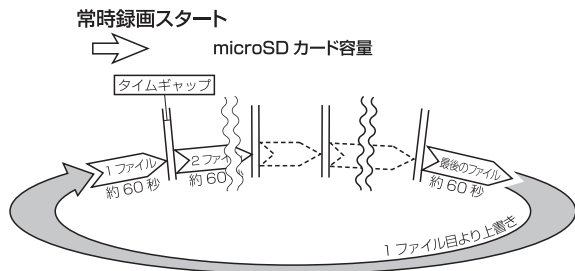
microSD カード 容量	常時録画	手動録画	衝撃検知録画	駐車録画
16GB	94分	19分	39分	39分
32GB	190分	40分	80分	80分
64GB	380分	80分	160分	160分

ファイル構成とタイムギャップ

■ ファイル構成

常時録画中は約 60 秒毎に録画ファイルが作成されます。

microSD カードの録画容量がいっぱいになった場合は、古いファイルから順次上書きされます。



※録画時間が 60 秒に満たない状態で電源を切った場合には、その時点で新しいファイルが作成されます。

※常時録画中に手動録画、及び衝撃検知録画があった場合にはファイル名が変更されます。

※手動録画は microSD カードの録画可能容量の約 10%、衝撃検知録画は約 20%、駐車録画は約 20%まで保存され、それ以降は順次古いファイルから上書きされます。

※大切なファイルは上書きされないよう、バックアップを作成してください。

■ タイムギャップ

タイムギャップ（ファイル間の無録画時間）は理論上約 0.1 秒あります。

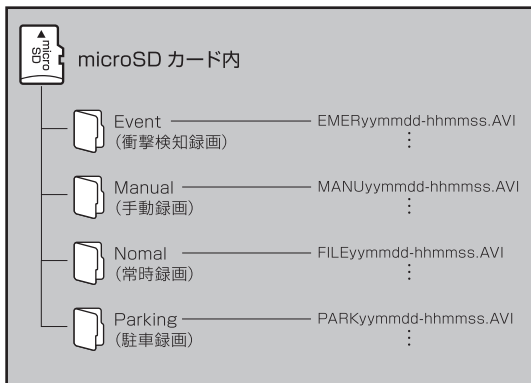
ファイルの録画完了から新しいファイルに録画を開始するまでにタイムギャップが発生します。その間は録画はされません。

※ データ保存のためには電源を切り、LED が消灯してから microSD カードを抜き取ってください。

※ 実際のタイムギャップは約 0.1 秒より短くなる場合があります。

microSD カード内の構成

■ 録画ファイル構成



録画面面

画面をタッチするとアイコンを表示します。

※ 衝撃録画、手動録画中は操作を行えません。

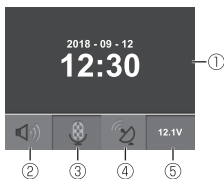


No.	機能説明
①	メニューを表示します。(⇒ P.35)
②	手動録画を行います。
③	音声録音のオン/オフを切り替えます。 音声録音がオフのときは白アイコンで表示されます。
④	フロント/リア映像の表示を切り替えます。 タッチするたびに映像が切り替わります。
⑤	GPS 信号の受信状態を表示します。 信号を受信できない場合はアイコンに斜線が入ります。
⑥	日付、時刻の情報を表示します。
⑦	録画中は赤く点滅します。
⑧	衝撃検知録画中に表示します。
⑨	手動録画中に表示します。
⑩	フロント、またはリアカメラの映像を表示します。

時計表示画面

画面オフで設定した時間、操作がないと時計表示画面に切り替わります。
(⇒ P.38)

画面をタッチすると録画画面を表示します。



No.	機能説明
①	現在の日付と時刻を表示します。
②	音声案内のオン/オフを切り替えます。
③	音声録音のオン/オフを切り替えます。
④	GPS 信号の受信状態を表示します。
⑤	車両バッテリーの電圧を表示します。

メインメニュー

※メニューの表示中は録画を行いません。



項目	機能説明
録画設定	画質、明るさなど録画関連の設定をします。(⇒ P.36)
駐車モード	駐車モードの設定をします。(⇒ P.37)
ディスプレイ	画面、運転支援機能の設定をします。(⇒ P.38)
再生	本機で録画したファイルを再生します。(⇒ P.43)
システム	言語、ボリューム、時間などを設定します。(⇒ P.44)
SD カード	microSD カードをフォーマットします。(⇒ P.23)

録画設定



項目	機能説明
画質	録画解像度 FHD (1920×1080)/ HD (1280×720) ※ 画質の変更はフロントカメラです。 ※ 録画画質の変更後、microSD カードがフォーマットされます。 データがすべて削除されますので 大切なデータは必ず PC などに バックアップを作成してください。
明るさ	録画時の明るさ (-1.0/-0.7/0/0.7/1.0) -1 が暗く、1 が明るくなります。
G センサー	常時録画中の G センサー感度 (OFF/1/2/3/4/5) ※ 感度を高く設定すると、強めの ブレーキ操作などの衝撃で G センサーが感知する場合があります。
ナイト ビジョン	夜間やトンネルなど、光量が少な く暗い映像を明るく補正します。 (ON/OFF)

駐車モード



項目	機能説明
設定	<p>駐車モード機能 (オン / オフ) 駐車モードを使用する場合はオンにしてください。</p>
G センサー	<p>駐車モード中の G センサー感度 (フロントカメラ) 衝撃を検出すると駐車録画を行います。 (オフ / 1 / 2 / 3 / 4 / 5) オフの場合は駐車モード中に衝撃検知を行いません。</p>
動体検知	<p>駐車モード中の動体検知感度 (フロント / リアカメラ) 動体を検出すると駐車録画を行います。 (オフ / 1 / 2 / 3) オフの場合は駐車モード中に動体検知を行いません。</p>
電圧設定	<p>車両のバッテリー電圧が設定した電圧より低下すると駐車モードを終了します。 (12V 時 : 12.8V / 12.4V / 12.2V / 12.0V / 11.8V) (24V 時 : 24.8V / 24.4V / 24.2V / 24.0V / 23.8V)</p>
温度管理	<p>本機の温度が設定した温度以上になると駐車モードを終了します。 (60°C / 70°C / 80°C / 85°C)</p>
オフタイマー	<p>設定した時間経過後に駐車モードを終了します。 (2 時間 / 6 時間 / 12 時間 / 24 時間)</p>

ディスプレイ



項目	機能説明
パネル補正	画面をタッチした位置の調整を行います。
画面オフ	設定した時間、操作がないと時計表示画面に切り替わります。 (オフ / 30 秒 / 60 秒 / 120 秒)
位置設定	車線の設定を行います。(⇒ P.40) ※ 運転支援機能を使用するには設定してください。
車線逸脱警告	車線の逸脱をお知らせします。(⇒ P.42) (オン / オフ)
前方衝突警告	前方車両への接近をお知らせします。(⇒ P.42) (オン / オフ)
前車発進通知	前方車両の発信をお知らせします。(⇒ P.42) (オン / オフ)

ディスプレイ

■ 運転支援機能 (Semi-ADAS)

車線逸脱、前方衝突の危険をお知らせします。

※ 使用する場合は設定が必要です。



運転支援機能の注意

ドライバーの運転をサポートするもので、事故を未然に防ぐものではありません。

また、すべての条件において危険をお知らせするものではありません。

本機の使用、または使用不能から生じる事故や損害などに関して弊社は一切の責任を負いません。

以下のような場合は運転支援機能が正しく動作しない場合があります。

- トンネルや地下、ビル等に囲まれた所など、GPS 信号が正しく受信できない場所。
- 道路の舗装状態や雨天時の反射などで車線が正しく認識できない場合。
- 前方車両の形状や色などによって、車両と認識できない場合。
- 悪天候や逆光、夜間など安定して認識できない場合。
- フロントガラスに水滴や汚れなどの付着や、映り込みにより安定して認識できない場合。
- 運転者にとって前方が見えにくい状況。

ディスプレイ

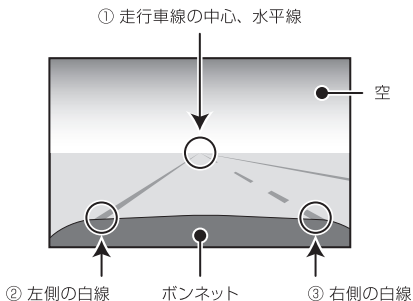
■ 運転支援機能 (Semi-ADAS)

● 車線設定

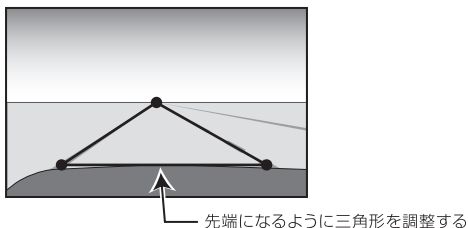
走行車線の設定を行います。

画面内の緑線（三角形）と車線の3点をそれぞれ合せます。

※ 設定を正しく行なわないと運転支援機能が正常に動作しません。



設定例



※画面内に車両のボンネットが映り込んでいる場合は、緑線下側の線がボンネットの先端になるように調整してください。

ディスプレイ

■ 運転支援機能 (Semi-ADAS)

● 位置設定

走行車線の設定を行います。

画面内の緑線（三角形）と車線の3点をそれぞれ合わせます。

※ 設定を正しく行わないと運転支援機能が正常に動作しません。

① 水平線設定

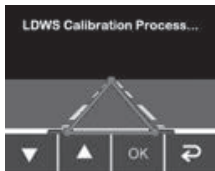


1. カメラの位置を調整して、三角形の頂点に水平線が一致するように合わせます。

2. ◀ / ▶ で頂点と走行車線の中心を合わせます。

OK を押して次の設定に移動します。

② ボンネット位置設定



▼ / ▲ で三角形の底辺をボンネットの先端に合わせます。

OK を押して次の設定に移動します。

③ 車線の設定



◀ / ▶ で三角形の幅と走行車線の幅を合わせます。

OK ボタンを選択して設定を終了します。

ディスプレイ

■ 運転支援機能 (Semi-ADAS)

● 車線逸脱警告

走行中に車線を逸脱したことを検知するとアラームでお知らせします。
オン / オフから選択します。

- ・ 車線を認識すると画面上に青線を表示します。
- ・ 車線を逸脱したことを検知すると、画面上に赤線を表示しアラームを鳴らします。

※車線逸脱警告を使用する場合、車線の設定が必要です (⇒ P.39)

※時速が 40km/h 以上の場合に動作します。(GPS 信号からの算出値のため、実際の速度と異なる場合があります)

※ウィンカーと連動していないため、車線変更時にもアラームが鳴ります。

● 前方衝突警告

走行中に前方車両に接近したことを検知するとアラームでお知らせします。

車両を認識すると画面上にアイコンを表示します。

オン / オフから選択します。



● 前車発進通知

信号などで停車中に前方の車両が発進したことを検知すると、画面上に矢印を表示しアラームを鳴らしお知らせします。

オン / オフから選択します。

運転支援機能の動作について

※GPS 信号を受信していないと正しく動作しない場合があります。

※天候や路面状況などによっては適切に動作できない場合や、誤認識して不要なアラームを鳴らす場合があります。

※前方車両は画像処理によって検出します。形状や色などによって認識できない場合があります。

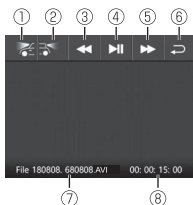
※前方車両との距離は画像処理によって算出するため、実際の距離と異なる場合があります。

再生



項目	機能説明
切替	ファイルリストに表示するフォルダを選択します。 録画ファイルは録画方式別にフォルダ分けされています。
並替え	ファイルの表示順を録画ファイル日時の昇順 / 降順で切り替えます。
再生	選択した録画ファイルを再生します。 再生するファイルを選択すると再生されます。 ファイルの再生が終わると前の画面に戻ります。

再生画面



No.	機能説明
①	フロントカメラ映像 フロントカメラの映像を再生します。
②	リアカメラ映像 リアカメラの映像を再生します。
③	巻き戻し 押すたびに速度が変わります。
④	再生 / 一時停止
⑤	早送り 押すたびに速度が変わります。
⑥	前の画面に戻る ファイル選択画面に戻ります。
⑦	ファイル名
⑧	再生時間

システム



項目	機能説明
言語	表示、音声案内の言語を選択します。 (日本語 /English)
ボリューム	音声案内、操作音、アラームの音量を設定します。 (オフ /1/2/3/4/5) ※オフにするとすべての音が出なくなります。
時間設定	日付と時刻を設定します。 ※GPS 衛星から信号を受信すると自動で日付と合わせます。
リセット	本機の全ての設定を初期化します。
バージョン	本機のソフトウェアバージョンを表示します。

専用ビューア

■ 専用ビューア

専用ビューアでは microSD カードに保存された映像の確認と、走行した位置の確認ができます。

本機で録画した映像は一般の動画再生プレイヤーでも再生できますが、走行した位置情報は表示されません。走行した位置を確認するには専用ビューアが必要です。

専用ビューアは慶洋エンジニアリングのホームページよりダウンロードします。

[<http://www.keiyoeng.co.jp/download/index.html>]

※ 走行した位置を確認するにはインターネットの接続環境が必要です。接続していない時は地図が表示されません。

● 動作条件

対応 OS	Windows Vista/7/8/8.1/10
CPU	Intel Dual Core 2.6GHz 以上
メモリー	2GB 以上
HDD 空き容量	1GB 以上
ディスプレイ	WXGA (1280×800) 以上
サウンド	Windows で動作可能な再生機能
その他	<ul style="list-style-type: none">• インターネット接続環境• microSD カードを接続可能なメモリーカードリーダー、ライター

※ 条件を満たしたすべてのパソコンについて、動作を保証するものではありません。

※ お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。

専用ビューア

■ 一般の動画再生ソフトで再生

本機で録画した映像は AVI ファイルに対応した動画再生プレイヤー (Windows Media Player など) で再生することができます。

※フロントカメラの映像のみ再生できます。リアカメラの映像は再生できません。

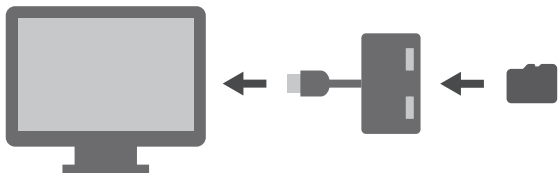
リアカメラの映像確認には専用ビューアをご使用ください。

※お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されない場合があります。

1. パソコンに SD カードリーダーライターを接続します。

※ 使用方法はリーダーライターの取扱説明書をご確認ください

※パソコンに直接 SD カードを接続できる場合はリーダーライターは必要ありません。



2. SD カードリーダーライターに microSD カードを挿入します。

※ 必要に応じて同梱の SD カードアダプターを使用してください。

3. リムーバブルディスクを開き、フォルダ内の動画ファイルを選び再生します。

⚠ パソコンでの表示容量について

専用のファイルシステムとなっているため、使用した microSD カードをパソコンに接続した際、録画ファイル数が少なくても使用領域が多く表示されます。



録画ファイル数が少なくても使用領域が多く表示されます。

専用ビューア

■ ビューアソフトをインストールする

1. ビューアソフトは、慶洋エンジニアリングのホームページからダウンロードします。

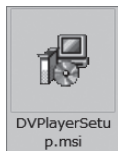
ダウンロード URL

[<http://www.keiyoeng.co.jp/download/index.html>]



ダウンロードファイル

2. 「DVPlayerSetup.msi」をダブルクリックします。
※ダウンロードしたファイルが圧縮されている場合は展開してください。

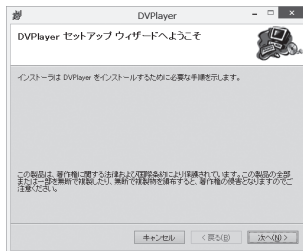


ビューアソフト インストールパッケージ

専用ビューア

■ 専用ビューアをインストールする

3. セットアップウィザードが表示されますので、内容を確認して「次へ」をクリックします。
以降は画面の指示に従い、インストールを進めます。



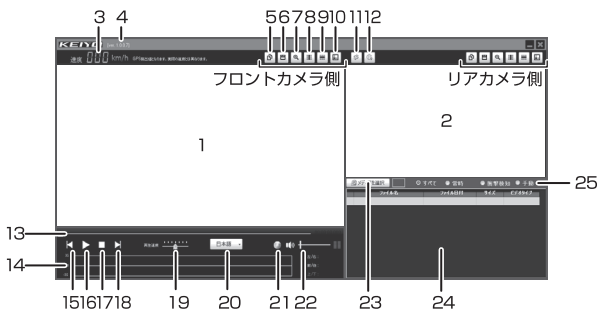
4. インストールが終わると、デスクトップに「DVPlayer」のショートカットアイコンが登録されます。



専用ビューアアイコン

専用ビューア

■ 操作画面の構成



1. フロントカメラ 再生画面

ファイルを再生するとフロントカメラの映像が表示されます。

2. リアカメラ 再生画面

ファイルを再生するとリアカメラの映像が表示されます。

3. 速度表示

GPS 信号から算出した速度を表示します。

※ 実際の速度とは異なることがあります。

4. ソフトウェアバージョン

専用ビューアのバージョンを表示します。

5. 連続キャプチャー

再生している映像を連続した画像として保存します。(⇒ P.54)

6. 映像ファイルの保存

1つの録画ファイルになっているフロント/リアカメラの映像を分けて保存します。(⇒ P.55)

7. 拡大

映像を拡大します。

アイコンをクリックし、再生画面上にマウスを移動します。

専用ビューア

8. **左右反転**
映像の左右を反転します。
9. **上下反転**
映像の上下を反転します。
10. **全画面表示**
ビューアに表示されている映像を全画面表示（フルスクリーン）にします。
操作画面に戻るには画面をダブルクリックします。
11. **映像切替**
フロントカメラの再生画面とリアカメラの再生画面を切り替えます。
12. **地図**
インターネットの地図上に走行位置を表示します。
※ インターネットの接続環境が必要です。接続していない時は表示されません。
※ GPS 衛星からの信号の受信状況によって、実際に走行した位置と地図上の位置にズレが生じたり、正しく表示されない場合があります。
※ 位置情報が記録されていないファイルを再生した場合は表示されません。
GPS 信号受信についての注意事項は P12 をご確認ください。
13. **再生位置**
ファイルの再生箇所を表示します。
14. **G センサーグラフ**
G センサーが記録したデータを表示します。
15. **前のファイル**
プレイリストで選択されている前のファイルを再生します。
16. **再生 / 一時停止**
プレイリストで選択されているファイルを再生します。
17. **停止**
再生を停止します。
18. **次のファイルへ**
プレイリストで選択されている次のファイルを再生します。
19. **再生速度**
再生速度を変更します。

専用ビューア

■ 操作画面の構成

20. 言語
ビューアの表示言語を選択します。
21. 画質
映像の画質を調整します。
明るさ、彩度、色合いを調整できます。
22. 音量
スピーカーアイコンをクリックするとミュート（消音）します。
バーをクリックしたまま左右操作で再生音量を調整します。
23. メディアを選択
プレイリストに表示するファイルを選択します。(⇒ P.53)
24. プレイリスト
読み込んだファイルが表示されます。
再生したいファイルを選びます。
25. ビデオタイプの抽出
プレイリストに表示するビデオタイプを選びます。

専用ビューア

■ 動画の再生

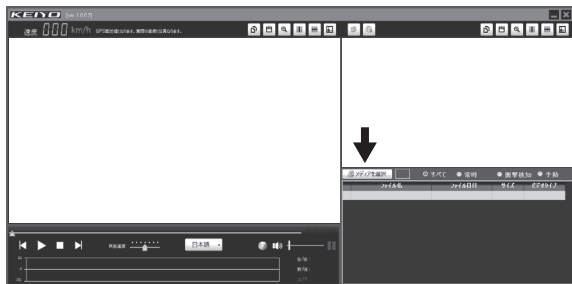
本機で録画した映像を専用ビューアを使い再生します。

1. ドライブレコーダー本体から抜いた microSD カードを、付属の SD カードアダプターやカードリーダーなどを使用してパソコンに挿入します。
2. デスクトップの「DVPlayer」のショートカットアイコンをダブルクリックします。



← 専用ビューアアイコン

3. 専用ビューアが起動します。



専用ビューア

4. 「メディアを選択」をクリックします。
ダイアログが表示されますので、読み込むメディアを選択します。

デフォルトでは「ディスク」が選択されています。
プルダウンから microSD カードのドライブを選び「OK」をクリックします。



microSD カードのドライブを選択
※ ドライブのアルファベットはご使用の環境により異なります。

5. microSD カード内のファイルが読み込まれます。
ビューアのプレイリスト内にファイルが表示されますので、再生したいファイルを選び再生をクリックします。

● ファイル、またはフォルダを指定して読み込む場合

1. メディアを選択のダイアログ内で、「ファイル」または「フォルダ」を選択して、右側の「…」をクリックします。
2. microSD カードやパソコン内から、読み込むファイル、またはフォルダを指定し「OK」をクリックします。

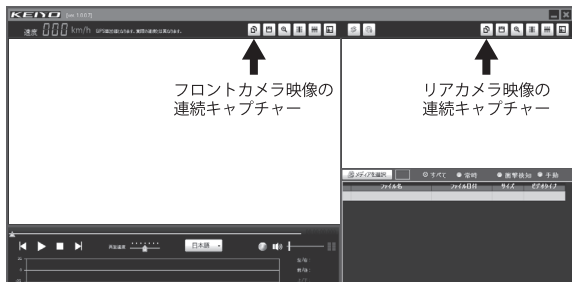
専用ビューア

■ 連続キャプチャー

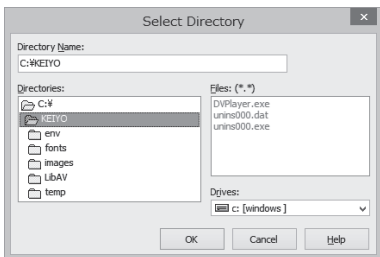
ビューアで再生している映像を連続した画像として保存します。
1 つの録画ファイルを 1 秒ごとにビットマップ画像へ変換します。
(約 60 ファイル)

※ ファイルサイズが大きくなりますので保存先の空き容量にご注意ください。

1. 再生中、または一時停止中にアイコンをクリックするとダイアログが表示されます。



2. 保存先を決め、OK をクリックします。



専用ビューア

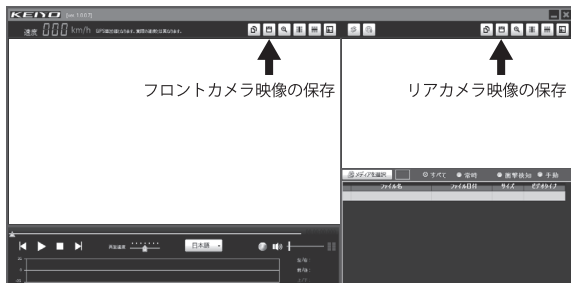
■ 映像ファイルの保存

1つの録画ファイルになっているフロント/リアカメラの映像を分けて保存します。

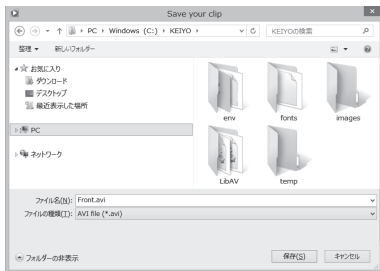
ファイル形式は AVI で保存します。

※音声は保存されません

1. 再生中、または一時停止中にアイコンをクリックするとダイアログが表示されます。



2. 保存先を決め、ファイル名を入力します。
保存をクリックします。



製品仕様

フロントカメラ	センサー	CMOS 約 200 万画素
	レンズ画角	水平：124° / 垂直：68° / 対角：140°
	最大記録画角	水平：120° / 垂直：65° / 対角：137°
リアカメラ	センサー	CMOS 約 100 万画素
	レンズ画角	水平：103° / 垂直：59° / 対角：125°
	最大記録画角	水平：100° / 垂直：56° / 対角：123°
録画サイズ	フロント：FULLHD (1920×1080) / HD (1280×720) リア：HD (1280×720)	
フレームレート	本体、リア：27fps	
録画ファイル	常時録画 / 手動録画 / 衝撃検知録画 / 駐車モード	
録画時間 (1 ファイル)	常時録画：約 60 秒 手動録画、衝撃検知録画、駐車モード：約 30 秒 (前 5 秒 / 後 25 秒)	
駐車モード	車両 バッテリー	オフタイマー設定：オフ / 2 / 4 / 6 / 12 時間 電圧監視設定：オフ / 11.8 ~ 12.8V オフ / 23.8 ~ 24.8V
	検知方法	衝撃検知 / 動体検知
画面サイズ	2.4 インチ	
音声録音	オン / オフ 切り替え可能	
GPS	内蔵	
G センサー	オフ、1 ~ 4 段階	
メモリーカード	microSDHC カード：16 ~ 32GB microSDXC カード：64GB のみ CLASS10 以上	
電源	DC 12V/24V (約 290mA DC12V 時)	

製品仕様

サイズ	本体	約 91(W)×56(H)×34(D) mm ブラケット装着時：最大 約 89(H)
	リア	約 52(W)×29(H)×28(D) mm
質量	本体	約 105g (ブラケット、microSD カード含まず)
	リア	約 23g
録画方式	AVI (H.264)	
動作温度範囲	-10℃～70℃	

※すべての microSDHC カードの動作を保証するものではありません。

※microSD カード、16GB までの microSDHC カード、64GB を超える microSDXC カードはご使用になれません。

本体ソフトウェアのアップデート方法

本体ソフトウェアの更新時には、ホームページ上でお知らせいたします。

■ アップデートする

1. ドライブレコーダーアップデートサイト (<http://www.keiyoeng.co.jp/>)へPCからアクセスします。
2. 本体ソフトウェアアップデートを確認し、ファイルをPCにダウンロードします。
3. ダウンロードしたアップデートファイルをmicroSDカードの最上階層にコピーします。
4. microSDカードを本体に挿入し、電源を入れます。
5. LEDが赤色に点滅し、「アップデートを開始します」の音声の流れアップデートを開始します。
6. アップデートが完了するとLEDが青色に点灯し、自動的に本体が再起動します。



! アップデート中は絶対に電源を切らないでください

アップデート中に電源を切るとソフトウェアが破壊され、起動できなくなる可能性があります。

保証書

■ 保証規定

1. 取扱説明書の注意書に基づくお客様の正常なご使用状態のもとで保証期間内に万一故障した場合、無料にて故障個所の修理をさせていただきますので、お買い上げ販売店に本保証書を添えてお申し出ください。
2. 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については当社はその責任を負わないものとします。
3. 海外で使用された場合、あるいは不当な改造については当社は一切の責任を負わないものとします。
4. 修理品のご持参、お持ち帰りの交通費、または送付される場合の送料、取り付け、取り外し費用及び諸掛かりはお客様のご負担となります。なお、ご送付の場合は適切な梱包の上、紛失防止のため受け渡しの確認できる手段（簡易書留や宅配など）をご利用ください。
5. 次のような場合には、保証期間中でも有料修理になります。
 - (1) 保証書のご提示がない場合。
 - (2) 本保証書に保証期間、品名、販売店、お買い上げ日の記入のない場合、または字句を書き替えられた場合。
 - (3) お客様による輸送、移動時の落下、衝撃等、お客様の取り扱いが適正でないために生じた故障、損害の場合。
 - (4) お客様による使用上の誤り、あるいは修理による故障および損傷。
 - (5) 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災事変、事故、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障および損傷。
 - (6) 本製品に接続している当社指定以外の機器および消耗品に起因する故障および損傷。
 - (7) 正常なご使用方法でも消耗品が自然消耗、摩耗、劣化した場合。
6. ご不明の点は、お買い上げ販売店にご相談ください。
7. この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
8. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)

保証書 (書き込み欄)

持ち込み修理

本書は、本書記載内容により無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から下記期間中に万一故障が発生した場合は、本書を提示の上お買い上げの販売店、または株式会社アプティに修理をご依頼ください。
本書の再発行は行いませんので、紛失しないように大切に保管してください。
※microSD カードは消耗品のため、保証の対象外です。

品名	ドライブレコーダー
機種名	UP-K04
保証期間	お買い上げ日より2年間(本体)
	お買い上げ日： 年 月 日
販売店	店名 住所 電話

ご販売店様へ

この保証書はお客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするものです。贈答品、記念品の場合も含めて必ず記入捺印してお客様にお渡ししてください。

販売元

株式会社アプティ

〒153-0043 東京都目黒区東山 1-5-4 KDX 中目黒ビル 2F

TEL : **03-6774-0191**

製造元

株式会社慶洋エンジニアリング

〒105-0004 東京都港区新橋 6-13-1 第3長谷川ビル 5F

お客様サービスセンター

TEL : **03-3431-8194**

受付時間 月曜日～金曜日(平日のみ) 10:00～12:00/13:00～16:00

MEMO

SPUPTY x **KEIYO**